

番号	選者	俳句	チーム名	作者
1		着地点落ち葉だまりや滑り台	大阪桐蔭	太田 智彩
2		湖を行く高速道路落葉かな	〃	木下 晴香
3		キヤスターの硬き椅子より見る落葉	〃	秋葉 紅杏
4		檜落葉新しき歯科医院の灯り	岡山朝日	北川 桔梗
5		いさかいの声の遠のく落葉かな	〃	木村 光
6		ベランダの如雨露の底に撫落葉	〃	高祖 桃香
7		ロッカーの硬貨の戻る落葉時	名古屋A	関谷 諒太
8		落葉時紙芝居師はどこへ消え	〃	山田 啓太
9		落葉掃く以下同文のころもち	〃	山本 理貴
10		おのづから籠に入つてゆく落葉	名古屋B	三輪 修平
11		ひとひらの落葉が門をくぐり来ぬ	〃	富田 輝
12		しやつくりし声の漏れたる落葉かな	〃	山本 昊太朗
13		砂防ダムの穴顔のごと山落葉	灘	物部 知達
14		コーヒーにボール紙巻かれゐて落葉	〃	白坂 悠人
15		葉脈にそつて落葉の燃え移る	〃	岡部 勇澄
16		チケツトを日記に挟む落葉時	洛南	田畑 そら
17		朴落葉鉄路跨いで僧帰る	〃	前田 佑介
18		薄く重なりし落葉の踏まれけり	〃	椎名 倫子

番号	選者	俳句	チーム名	作者
1		風邪の夜に通知画面の滲みたる	大阪桐蔭	木下 晴香
2		風邪の身や乗車ボタンの赤強し	〃	秋葉 紅杏
3		風邪引きて喉にささりしいちごオレ	〃	太田 智彩
4		甘ったるいだけのチョコ飲む風邪籠	岡山朝日	神崎 理恵子
5		隣家の門扉の軋み風邪ごもり	〃	東 実弥
6		セシウムの半減期来ぬ風邪籠	〃	北川 桔梗
7		風邪引きてクリームパンの軽さかな	名古屋A	服部 壮真
8		風邪心地AIのゐる炊飯器	〃	藤田 康太朗
9		吸物の半分たま麩風邪籠	〃	山田 啓太
10		風邪心地をさなき頃を褒められて	名古屋B	富田 輝
11		人形に風邪を移してしまひさう	〃	三輪 修平
12		風邪心地視界の隅に鼻のある	〃	山本 昊太朗
13		抱きしめるもの部屋になく風邪心地	灘	岩瀬 一誠
14		感冒やコンクリートに雨の跡	〃	白坂 悠人
15		紫の線の一本風邪薬	〃	物部 知達
16		鉄棒を砂ごと握る風邪心地	洛南	澤西 敦大
17		唇薄き恐竜と会ふ風邪の夢	〃	前田 佑介
18		下敷を本に挟んだままの風邪	〃	田畑 そら

番号	選者	俳句	チーム名	作者
1		岩陰の磯の香強し大西日	大阪桐蔭	秋葉 紅杏
2		手刀の西瓜割り片思いのありったけ	〃	太田 智彩
3		西日照りおもちゃの机片付けぬ	〃	木下 晴香
4		年の瀬の偏西風やラジオ切り	岡山朝日	高祖 桃香
5		西遊記手に寝落ちの子夏近し	〃	木村 光
6		西陣織の花文庫背負ふ七五三祝	〃	北川 桔梗
7		お元日西京漬の金色も	名古屋A	服部 壮真
8		関西は良いマスばかり絵双六	〃	関谷 諒太
9		西暦を昭和に直す炬燵かな	〃	山田 啓太
10		束子ごとバケツを運ぶ西日かな	名古屋B	三輪 修平
11		外套やとはに微笑む西洋画	〃	富田 輝
12		門松を関西弁が運びをり	〃	山本 昊太朗
13		モネの模写あをく潤ふ大西日	灘	岩瀬 一誠
14		西向きの六畳一間ヒヤシンス	〃	物部 知達
15		亀の子や本土最西端の駅	〃	天野 晃希
16		青木の実路上ライブの西口に	洛南	前田 佑介
17		冬帽子名刺に西日荘とあり	〃	田畑 そら
18		西に母北に父ゐて冬の雨	〃	澤西 敦大

番号	選者	俳句	チーム名	作者
1		淑気突っ切っていつもの電車なり	大阪桐蔭	秋葉 紅杏
2		鉄棒の祖父の背正し淑気かな	〃	木下 晴香
3		愛犬のさらりと揺れて淑気かな	〃	秋葉 紅杏
4		おみくじの待ち人来たる淑気かな	〃	太田 智彩
5		＼〇＼〇と街に広がり淑気かな	〃	太田 智彩
6		深鉢の縁に釉葉垂る淑気	岡山朝日	北川 桔梗
7		玉垣の深き家紋や淑気満つ	〃	東 実弥
8		船の名の太き筆文字淑気かな	〃	高祖 桃香
9		生命線長き一族坐す淑気	〃	木村 光
10		絵札読む子の声高し淑気満つ	〃	神崎 理恵子
11		野良猫の低く歩める淑気かな	名古屋A	関谷 諒太
12		淑気満つ入浴剤のうすみどり	〃	山本 理貴
13		折鶴の全軀尖れる淑気かな	〃	藤田 康太朗
14		誰もゐぬ上座に淑気満ちてをり	〃	山田 啓太
15		梅の木を淑気の骨組みと思ふ	〃	服部 壮真
16		山なべて弓のかたちの淑気かな	名古屋B	富田 輝
17		機関車の煙広がる淑気かな	〃	三輪 修平
18		暮の雲みなくれなゐの淑気かな	〃	富田 輝
19		大木より生ふる木のあり淑気満つ	〃	山本 昊太朗
20		カステラの淑気ふくみて膨らめる	〃	富田 輝

										30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	番号
																				選者
										淑気とは知らない犬の欠伸かな	淑気満つ梢の先に雨の跡	我のゐるエンドロールの淑気かな	淑気満つ城 <small>ぐすく</small> つくづく白き道	長椅子に水筒多き淑気かな	キリバスの砂に淑気の届きたり	この町の生活道路縫う淑気	卵黄の息苦しきを淑気触る	淑気満つ海岸歩行するいのち	シヤチは尾を叩きつけゆく淑気かな	俳句
										〃	〃	〃	〃	洛南	〃	〃	〃	〃	灘	チーム名
										椎名 倫子	澤西 敦大	田畑 そら	前田 佑介	田畑 そら	岡部 勇澄	天野 晃希	岩瀬 一誠	物部 知達	白坂 悠人	作者